

# TOKAI KAGU

## エレガンス クラシックコレクション

清潔感があり部屋を広く明るくみせてくれる「白いインテリア」

無難で、飽きが来ないからと言う理由で選ばれてきた“白い家具”ですが、近年はさまざまな個性を表現するために、積極的に白いインテリアを楽しむ女性が増えてきました。その中でもヨーロッパを代表する「ロココ調の白い家具」は今でも憧れの的。

ところが、「クラシックスタイルのコーディネート方法が分からない」

「値段も高いし、ゴージャス過ぎて我が家の雰囲気合わない」などの理由で購入を躊躇されていた方も少なくありませんでした。



写真の **TOKAI KAGU** がエレガンスコレクションとして販売しているリモージュWシリーズは、18世紀ヨーロッパで、貴族の宮殿や上流階級のご婦人を中心に流行した、華やかな社交生活のロココ調エレガントさを残しつつ、アールデコ風なスタイルをカジュアルに、そして自然体に白いインテリアをコーディネートできるようなプライスとアイテムに揃えた **TOKAI KAGU** を代表するトータルコーディネートシリーズです。

### ☆オフホワイトの秘密

基本的に「壁=白」の日本の住宅は白いインテリアは似合うと言われていますが、反面白と黒はインテリアの色としてはむずかしいとも言われています。なぜなら、快適で過ごしやすいインテリアは光の反射率と関係があるからです。インテリアの壁面は、反射率60%を超えてはいけないという原則があり、反射率88%の白色はある程度、家具

やファブリックで反射率を抑えなければいけません。

さらに白のイメージは公共施設や病院病棟の連想につながりやすく、「冷たい」感じを払拭できません。

しかし、冷たい白もあれば、暖かい白もあります。冷たい白は嫌われますが、暖かな白は歓迎されます。



### この暖かい白の秘密こそ、「オフホワイト」

ミルクシーなホワイト塗装が白の冷たさを抑え、光の反射率を和らげる事で、「暖かな白だな」と感じるのです。TOKAI KAGU エレガンスシリーズの仕上がり色は、まさに白いインテリアを楽しむのに丁度良いバランスと言えます。



写真は 2014 年の新作 フルールシリーズ

次の書籍を参考にしました

PLUS1LIVING

「色の秘密」野村順一著

「白いインテリア」が好き

文芸春秋発行

主婦の友社発行